

令和6年度 高体連報告書 水泳専門部

1 はじめに

令和6年度の専門部諸行事も、関係各位のご指導、ご支援により無事終了することができました。今年度は、令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会・第92回日本高等学校選手権水泳競技大会の競泳競技が本県で開催されました。参加していただいた選手諸君、並びに運営に御協力いただいた関係各位の皆様に対し、心より厚く御礼を申し上げます。

今大会は、「2007 青春・佐賀総体」以来17年ぶりの開催でした。2007年当時は屋外プールであったため、連日の猛暑、突然の落雷等により競技の一時中断や進行の一部変更を余儀なくされました。選手にとっても運営側にとっても厳しい環境下での大会でした。

佐賀市の中心部にあった佐賀県総合運動場は、2023年、「SAGA サンライズパーク」として生まれ変わり、その一角に水泳の専門施設「SAGA アクア」(2021年10月オープン)が新設されました。メインプールは水深3メートルまで調節でき、場内の空調管理設備と併せて、最適な環境での競技を可能にしました。

全国各地より1,599名もの高校生アスリートの参加がありました。残念なことに、ジュニアパンパシフィック選手権と開催時期が重なり22名の出場辞退がありましたが、パリオリンピックに出場した村佐達也選手(中京大中京)、平井瑞希選手(日大藤沢)、成田実生選手(淑徳巣鴨)らの活躍もあり、高校チャンピオンを決定するにふさわしい白熱した盛り上がりで、日本高校記録1個を含む合計8個の大会新記録が生まれました。声援が沸き起こり、会場は選手と観客が一体となった素晴らしい大会となりました。

皆様のご協力により大会を無事終了することができましたことを、改めまして、心よりお礼を申し上げます。

2 一年間を振り返って

<競泳>

SAGA アクアで開催された佐賀県高校総体、長崎県で開催された全九州高校水泳競技大会を経て、本県からは6校22名の選手が県代表としてSAGAインターハイに参加した。

渋谷琥玲亜(佐商)が50m自由形、市丸愛翔(龍谷)が200m個人メドレーでそれぞれB決勝(8~16位決定戦)に進出した。また、大会最終日には、市丸愛翔(龍谷)が男子400m個人メドレーで7位入賞を果たしてくれたことは大変喜ばしいことであった。また、県内水泳部の皆さんには、スタッフとして大会運営に関わり準備期間から大会本番まで長期にわたりご尽力いただいた。全ての方々に心より御礼を申し上げます。

●令和 6 年度佐賀県高校総体水泳競技大会

兼令和 6 年度全九州高校水泳競技大会佐賀県予選

開催日：2024/05/25~2024/05/26

会場名：SAGA サンライズパーク SAGA アクア

【女子 総合】

順位	所属名	得点
1	佐賀学園	181
2	佐賀商業	141
3	唐津商業	105
4	佐賀北	98
5	佐賀西	33
6	早稲田佐賀	23
7	鳥栖	22
8	龍谷	6

【男子 総合】

順位	所属名	得点
1	佐賀商業	286
2	佐賀学園	176
3	致遠館	86
4	佐賀西	47
5	佐賀清和	31
6	龍谷	30
7	唐津商業	27
8	佐賀北	9

<飛込>

神田は全国総体直前の合宿で肩を痛め練習が出来なくなり不安を抱えたままの状態であったが3m飛板と高飛込の両種目で入賞を果たした。村岡については2年連続で決勝進出を果たすことができたが目標とする入賞には届かなかった。

大会成績

●佐賀県高校総体

日 時：5月26日（日）

場 所：SAGA アクアダイビングプール

成 績：男子3m飛板飛込	1位	神田 新	（佐賀学園高校）	477.05 点
	2位	村岡 尚哉	（佐賀工業高校）	461.00 点
男子高飛込	1位	神田 新	（佐賀学園高校）	472.70 点

●全九州高等学校選手権飛込競技大会（末弘杯）

日 時：6月8日（土）

場 所：福岡県立総合プール

成 績：男子3m飛板飛込	4位	神田 新	（佐賀学園高校）	229.40 点
	5位	村岡 尚哉	（佐賀工業高校）	224.95 点
男子高飛込	2位	神田 新	（佐賀学園高校）	295.55 点

●全九州高等学校飛込競技大会

日 時：7月13日（土）、14日（日）

場 所：奥武山公園水泳プール

成 績：男子3m飛板飛込	3位	神田 新	（佐賀学園高校）	454.30 点
	4位	村岡 尚哉	（佐賀工業高校）	427.95 点
男子高飛込	2位	神田 新	（佐賀学園高校）	459.60 点

●全国高等学校総合体育大会水泳競技大会飛込競技

日 時：8月17日（土）～20日（火）

場 所：別府市営青山プール

成 績：男子3m飛板飛込	神田 新（佐学）	予選 8位決勝進出
		決勝 456.75 点 8位入賞
	村岡 尚哉（佐工）	予選 12位決勝進出
		決勝 373.25 点 11位
男子高飛込	神田 新（佐学）	予選 7位決勝進出
		決勝 411.85 点 7位入賞

<水球>

今年度は1年時から試合に出場してきた3年生を中心にインターハイ出場と、地元での国スポに照準を合わせて強化してきた。しかしシード権がない状況から強豪鹿児島南と各大会対戦することが多く結果が出せずに苦しんだ。そんな中での九州大会は開催地大分商業と対戦したがここでも課題である後半の戦いがうまくいかずに敗退した。

●全九州高校新人水球大会 R5 9 30

1回戦 対 鹿児島南（鹿児島）

7（1-4、4-3、0-3、2-3）13

●全九州高校水球選手権（末弘杯） R6 6 8～9

予選リーグ 対 福岡（福岡）

7（1-0、3-0、2-1、1-2）3

予選リーグ 対 鹿児島南（鹿児島）

7（3-3、2-4、0-1、2-4）12

決勝トーナメント 対 那覇商（沖縄）

6（2-2、2-4、2-4、0-4）14

●全九州高校水球大会 R6 7 6～7

1回戦 対 福岡（福岡）

14（5-0、2-3、3-4、4-3）10

2回戦 対 大分商（大分）

11（3-3、3-4、2-4、3-5）16